



議会だより

あなたと議会を
つなぐ情報誌

ま
い
ず
る
の
し
ら
せ

No. **195**号 令和3.5.15

主な内容

令和3年度当初予算・令和2年度補正予算を議決 (3月定例会議)	2 ~ 7
常任委員会報告	8 ~ 10
7名の議員が一般質問	11 ~ 15
予算審査特別委員会	15 ~ 17
議会の主な活動・編集後記	18



定例会議2日目(一般質問:3月11日)の傍聴席

令和3年度予算を可決

◆ 一般会計 ◆

98 億 5,000 万円

◆ 歳入内訳 ◆

区 分	予 算 額
地方交付税 (国から交付されるお金)	34 億 7,500 万円
町税 (町民税、固定資産税など)	20 億 5,983 万円
国・県支出金 (特定の事業に対して国や県が支出するお金)	10 億 3,859 万円
繰入金 (特別会計や基金から繰り入れるお金)	12 億 3,405 万円
町債 (借入金)	8 億 3,315 万円
その他 (寄附金、使用料、手数料収入など)	12 億 938 万円

◆ 令和3年度 一般会計の主な重点施策 ◆

事 業 名	予 算 額
防災対策事業	1,037 万円
ふるさと移住・定住促進事業	3,412 万円
ふるさと納税事業	2 億 9,770 万円
中之条ビエンナーレ開催事業	3,132 万円
地域おこし協力隊活動事業	3,649 万円
スパトレイル [四万 to 草津] 開催事業	343 万円
文化会館舞台吊物設備更新工事、博物館空調機更新工事	4,000 万円
福祉自動車利用料助成事業、高齢者等買い物支援事業	287 万円
予防事業 (新型コロナ予防ワクチン接種業務委託)	6,831 万円
美野原農業公園構想事業	2,963 万円
小規模農村整備事業	4,433 万円
木材活用センター建設事業	3,076 万円
中之条ガーデンズ運営管理事業	1 億 5,937 万円
チャレンジショップ出店支援事業	352 万円
チャップミゴケ公園管理事業	3,813 万円
橋梁長寿命化修繕計画事業	7,520 万円
町営住宅管理事業	4,228 万円
消防自動車管理事業、消防施設整備事業	1 億 3,944 万円
英語力向上支援事業、心の相談事業	458 万円
G I G A スクール構想による学習支援ソフトの導入事業	397 万円
文化財保護管理事業	5,148 万円

定例会議 3 月

3月定例会議は、3日から26日までの24日間の審議期間で開かれました。11日及び15日には、7人の議員が一般質問を行いました。令和3年度各会計予算、令和2年度補正予算、条例の廃止や一部改正、指定管理者の指定、人権擁護委員の推薦など町長提出議案37件を審議し、原案どおり可決しました。

また、新年度予算を集中的に審査するため「予算審査特別委員会」を設置することが可決されました。

そのほか、請願・陳情2件の審査・採決を行い、議員提出議案1件を原案どおり可決しました。



定例会議3日目(一般質問:3月15日)の傍聴席

◆特別会計・企業会計予算◆

70億9,152万円

会 計 名		予 算 額	一般会計からの繰入金
特別会計	国民健康保険	21 億円	1 億 2,455 万円
	後期高齢者医療	2 億 5,500 万円	6,683 万円
	介護保険	20 億 1,500 万円	2 億 9,107 万円
	四万へき地診療所事業	5,960 万円	2,037 万円
	ゆうあい荘事業	6 億 2,530 万円	1 億 3,550 万円
	六合簡易水道事業	6,170 万円	3,570 万円
	下水道事業	5 億 4,000 万円	2 億 8,700 万円
	農業集落排水事業	3 億 4,500 万円	2 億 2,000 万円
企業会計	発電事業	3 億 9,000 万円	109 万円
	自動車教習所事業	9,829 万円	—
	上水道事業	3 億 6,745 万円	—
	簡易水道事業	2 億 3,418 万円	3,126 万円

令和3年度予算について

討

論

反対討論

賛成討論

山田みどり議員

新年度一般会計当初予算では、伊能町政の目指す具体的な施策が見えてこない。社会保障では子供の医療費の無料化を18歳まで拡充するなど切れ目のない子育て支援が必要である。

5カ年計画で整備した中之条ガーデンズが有料化によりグランドオープンするが、相変わらず町の主体的な運営ではなく、雇用創出ができるよう運営を見直すべきである。

ミユゼの管理体制も責任の所在が不明確で今後の運営に疑念が残る。伊能町政の姿勢を表している。

またコロナ禍で国保税や介護保険料が暮らしの負担となり、国保運営は持続可能なものとは言い難い。

佐藤力也議員

コロナ禍の下、本町でも少子高齢化、社会保障経費の増加は避けられず、公共施設の老朽化への対応も必要であり、厳しい見通しとならざるを得ない予算編成の中で、限られた財源を積極的、重点的に配分し、地域経済や景気対策にも考慮している。

国が進めるコロナワクチン接種事業をはじめ、ICT教育事業など時代に即した事業が適切に見込まれ、人口減少等の課題克服、まちづくりビジョンの重点施策が適切に反映されている。町の将来を見据え、現下の重要課題である少子高齢化、社会資本の整備、安全で安心な地域づくり、活力のある地域づくりが盛り込まれた予算となっている。

令和2年度補正予算を可決

会計名		補正額	主な内容	予算総額
一般会計		△1億653万円	各事業確定による減額と新型コロナウイルス対策関連事業の増額など	128億4,416万円
特別会計	国民健康保険	△1億9,612万円	給付費及び委託費の実績見込みによる減額など	20億1,681万円
	後期高齢者医療	353万円	後期高齢者医療広域連合納付金の増額	2億4,657万円
	介護保険	△6,212万円	介護給付費の減額など	19億6,053万円
	保険事業勘定			
	四万へき地診療所事業	△142万円	医薬材料費の減額	6,086万円
	下水道事業	△369万円	事業費の確定による減額	5億4,680万円
	農業集落排水事業	△33万円	事業費の確定による減額	3億4,703万円
発電事業	1,587万円	事業費の確定による発電基金積立金の増額	4億894万円	

補正予算の質疑

富沢重典議員 保育所のパート職員の給料及びスクールバス委託料の減額理由は、

ことも未来課長 保育士は募集をしても応募がなかったことも含めての減額、またスクールバスはコロナ禍で部活動の大会中止等による運行減で、各実績に基づく減額です。

富沢重典議員 他の事業でもパート職員の給与が減額になっている。みんな生活があるの、なるべく手厚く見ていただきたい。

大場壯次議員 湯の泉、山鳥の湯の温泉使用料の減額理由は、

観光商工課長 4月から9月の間、休館日の使用料分を減免したためです。

関美香議員 地域商品券の交付について、医療従事者以外にも感染リスクと闘いながら働く方に対して、応援する施策の考えはあるか。

町長 いろいろ施策は考えられますが、感謝も込めて今回は医療従事者にさせていただきますました。

佐藤力也議員 新たな人生をスタートさせる18歳の方にも地域振興券を拡充して交付できないか。

町長 予算の確保等もあり、今回は医療従事者に制限させていただきます。

福田弘明議員 地域商品券について、配布など今後予定は、

企画政策課長 5月中旬ごろに配布し、有効期限は10月31日までとしました。

福田弘明議員 町内のコロナの影響を少しでも緩和させてほしい。

関美香議員 感染症対策によるスクールバスの増便理由は、増便による交通面の支障が懸念されるが、

教育長 乗車人数の多いスクールバス路線の密を解消するための増便です。交通面については、スクールバスの運行会議等で調整を図っていきます。

佐藤力也議員 如月キャンペーンについて、予定数到達後も今年度末まで開催はできないか。

町長 観光業の経済復興のため、感染予防を徹底し今年度末まで継続していきます。

山田みどり議員 原町赤十字病院医師確保対策助成金について、コロナの危機で医療体制が非常に厳しい状況であるが、助成金の内容及び医療体制は、

保健環境課長 運営費の協力の要望書が郡東部3町村に提出され、初めて助成を行うものです。コロナ関係に対して、郡内で唯一入院できる医療機関であり、PCR検査センター等も医師会の要望も受けながら対処していただいている状況です。

山田みどり議員 地域の住民が利用する中核の医療機関なので、万全な医療体制、地域医療を守るために国や県に対しても要望してほしい。

条例の改正

★職員の仕事の宣誓に関する条例の一部改正について

押印の見直しにより宣誓書様式から印を削除しました。

★国民健康保険条例の一部改正について

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正により傷病名を変更しました。

★介護保険条例の一部改正について

3年に一度見直される介護保険事業計画に基づき介護保険料を改正しました。

★指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

★指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の一部改正について

町暴力団排除条例の趣旨に基づき、暴力団関係者の参入を防止する規定を加えました。

★指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

★指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について

★福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について

入院時食事療養に係る標準負担額相当額の規定の整理と重度心身障害者医療助成の見直しに伴い所得制限の基準額、対象者及び範囲を規定しました。

○質疑

山田みどり議員 所得制限により減収になった財源の使い道は。

住民福祉課長 所得制限により県・町の負担が減った分は、持続可能な福祉医療対策の財源確保という中で県下足並みをそろえて制度改正が導入されます。

★放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国の制度改正に合わせて、放課後児童支援員の認定資格研修実施者の要件を改正しました。

★農業公園設置及び管理に関する条例の一部改正について

中之条ガーデンズに年間有効のフリーパス券を発行できるようにしました。

・一般 2400円
・小中学生 1200円

○質疑

富沢重典議員 収支計画と年間パスポートの整合性は取れているか。

花のまちづくり課長 まだ実績がないため、計画の中には見込んでいません。

★小口資金融資促進条例の一部改正について

小口資金借り換え融資期間を、昨年に引き続き令和4年3月31日まで1年延長しました。

★道路占用料徴収条例の一部改正について

県の基準に合わせて、また固定資産税の評価替えや地価に対する賃料の動向などを踏まえて見直しました。

条例の廃止

★労働環境整備資金融資促進条例廃止について

県の事業が終了しているため廃止するものです。

指定管理者の指定

★チャップミンゴケ公園指定管理者の指定について

(株)共立メンテナンスを令和3年4月1日から5年間、指定管理者に指定しました。

規約の変更

★市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

市町村や一部事務組合等で共同設置している群馬県市町村公平委員会に令和3年度から新たに11団体が参加することに伴い規約変更をします。

人事

★人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の富沢易和さん(中之条町)、黒岩孝一さん(上沢渡)、高橋洋子さん(蟻川)は令和3年6月30日をもって任期満了になります。引き続き人権擁護委員として推薦することに同意しました。

専決処分の報告

・ 役場庁舎耐震改修等工事請負契約の変更
設計変更に伴い603万9000円を増額しました。
・ 令和2年度一般会計補正予算(第8号)

新型コロナウイルススワクチン接種事業として、333万9000円を追加しました。
・ 県市町村総合事務組合規約の一部改正

構成団体の変更により規約を改正しました。
・ 物損事故による和解
公用車の事故の和解が成立し報告されました。

○質疑

山田みどり議員 事故後の職員への指導や防止の徹底等についての取組は。

総務課長 再発防止に向け注意や指導及び報告書の提出等を行っています。

請願・陳情

★請願第5号

県有施設「群馬県ライフル射撃場」廃止の中止を求める請願書

(概要)

群馬県ライフル射撃場は、昭和56年に県が設置し、平成18年から群馬県ライフル射撃協会が指定管理者制度により運営管理を行っている。県内の小学生から社会人まで練習・大会を行っている代替のきかない貴重なスポーツ施設である。また有害鳥獣捕獲対策を担っている猟友会の会員にとっても重要な施設であるため、県に対して廃止の中止を求める意見書を提出してほしい。

★陳情第1号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

(概要)

最低賃金は都道府県ごとに4ランクに分けられ、地域間格差は最大221円である。国に対し、最低賃金の地域格

差をなくすため、全国一律最低賃金制度を実現すること、最低賃金を抜本的に引き上げること、最低賃金の引き上げと事業の継続・発展が図れるよう、中小企業支援を最大限拡充することを求める意見書を提出してほしい。

【請願陳情審査報告】

受理番号	件名	請願・陳情者	委員会審査	本会議決採
請願5	県有施設「群馬県ライフル射撃場」廃止の中止を求める請願書	群馬県ライフル射撃協会 会長 岡田 榮三	願意妥当	趣旨採択
陳情1	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	群馬県労働組合会議 議長 五十嵐 弘幸	願意妥当	趣旨採択

◎ 審議結果

議員名等 議案名等	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		山田みどり	佐藤力也	関美香	大場壯次	篠原一美	富沢重典	関常明	唐沢清治	安原賢一	小栗芳雄	福田弘明	剣持秀喜	山本日出男	齋藤祐知	山本隆雄
陳情第1号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	趣旨採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「-」で表示

議会で情報発信中!!

会議録や議員ごとの視察研修報告、本会議の録画配信をご覧ください。

議会ホームページURL

<https://www.town.nakanojo.gunma.jp/gikai/>

議会ホームページ QRコード



要望書

★群馬県防災ヘリコプター「はるな」墜落事故殉職者慰霊碑建立等に係る要望書の提出について

議員発議により議案を賛成全員で可決し、要望書を県知事及び県議会議長へ提出しました。

(要望書)

平成30年(2018年)8月10日午前10時1分ごろ、群馬県防災航空隊の防災ヘリコプターが県境、渋峠付近において墜落するという痛ましい事故が発生し、尊い隊員・関係者9名の命が奪われました。

殉職者の功績を後世に伝えるとともに悲惨な事故が2度と発生しないようお願い、下記遺族会の要望書を吾妻郡民の代表機関である6か町村議会が団結して強く要望する。

群馬県防災ヘリ「はるな」墜落事故遺族会 要望書

1. 消防学校建立慰霊碑及び渋峠建立慰霊碑について、令和3年8月10日(命日)までに設置する。
 2. 渋峠建立予定の慰霊碑について、設置に係る明確な事業計画(日程等)の提示。
 3. 標柱について、設置に係る明確な事業計画(日程等)の提示。
 4. 慰霊登山ルート上の2カ所の危険な箇所の補修整備について、明確な事業計画(日程等)の提示。
 5. 慰霊登山道の新たなルート整備に係る調査等について、明確な事業計画(日程等)の提示。
- 以上の点について、速やかに検討し、設置並びに提示することを要望致します。

○質疑

剣持秀喜議員

2年半の間、遺族の方々は現地への慰霊碑の建立を望んでいた

が、進展が見られなかった。3月2日の県議会で要望を受けた地元県議が一般質問を行い、結果、知事が慰霊碑建立を明言した。遺族が望む方向へ進み出した状況の中、委員会でのような審議がされたのか。要望書の1番については、大きな進展がみられたが、その意をくんで遺族会にも内容も含め確認を行ったのか。また要望活動等は行ってきたのか。

富沢重典委員長

知事が明言したのは慰霊碑を現地に建立するという要望書の1番だけと認識している。事業計画も明確になっていないことから事業計画を遺族等に示すべきと考え、要望書を提出することに決定した。遺族会には確認を取っていないが、事業内容が不明なので、要望書の1番も含めておくべきで、知事が明言しても予算化していないので内容を明らかにすべきと思う。町長からも要望活動について行ってきた旨を聞いている。

◎審議結果

議案名等	議員名等	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			山田みどり	佐藤力也	関美香	大場壮次	篠原一美	富沢重典	関常明	唐沢清治	安原賢一	小栗芳雄	福田弘明	剣持秀喜	山本日出男	齋藤祐知	山本隆雄
令和3年度一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度介護保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
介護保険条例の一部改正について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
農業公園設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
チャッポミゴケ公園指定管理者の指定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「-」で表示

総務企画

開催日 令和3年3月16日

委員長 富沢 重典

副委員長 佐藤 力也

委員 唐沢 清治・福田 弘明

山本 隆雄

及に力を入れていきたい。

寄贈財産の活用について

唐沢清治委員 寄贈された貴重な忍者資料の数々を新たなまちづくりの企画として総合的に活かしていく考えは。

町長 以前は真田忍者ウォークを開催していたり、また新年度では真田に係る講演会等も予定しています。寄贈された資料を調査し、教育委員会とも相談し展示等をできればと考えています。

地域通貨導入について

佐藤力也副委員長 地域通貨をマイナンバーに紐付けて普及率アップに向けて努力している自治体もあるが、今後のまちづくりとしての方針はあるか。

町長 基になるのはマイナンバーカードの普及ですが、賛否両論あるので、町民にも理解が必要だと思っています。マイナンバーカードを発行する部署に人員を確保するなど普

デジタル化のプラットフォームづくりについて

福田弘明委員 マイナンバーカードを通しての活用方法のプラットフォームになる部分は、サービスのデジタル化だと思う。商品券等の給付も事務処理が迅速になり経費も節約できると思うが。

町長 国や県もデジタル化へ舵を切っており、またマイナンバーカードに免許証、保険証、医療記録を入れる方向に動くことは間違いないと思います。日本がいか遅れているか浮き彫りになり、国も一生懸命デジタル化を加速させているので、総合的に研究し国の歩調と併せて実施していきます。

地区防災計画の進捗状況について

富沢重典委員長 防災関係で地区防災計画の進捗状況は。

総務課危機管理室長 各地区へ職員が行き、地区防災計画策定を依頼しています。現在、趣旨説明は87行政区のうち81行政区が終了し、防災計画は39地区が町へ提出をいただいております。また13地区が設立の届け出を行っております。

なかのん号の運行について

富沢重典委員長 なかのん号の運行日程の詳細は。この路線でないと走れない理由は。

企画振興係長 現在、3コース（沢渡・四万・名久田）がありますが、4月から名久田を2コースに分けて、最初に四万と沢渡に行き、その後、名久田方面へ向かうことで回数を増やして運行します。この路線でないと走れない理由は、デマンドバスを走らせている区間で無料のバスを走らせることは、認可上問題が発生してしまうためです。

富沢重典委員長 デマンドバスは福祉タクシーとは違う用途で走らせていると思うが、福祉タクシーと同じ目的で利用する方は有料になってしまふ。不公平さを生まない方法を考えてほしい。

請願審査

○「国に対し」再審法（刑事訴訟

法の再審規定）の改正」を求める意見書提出の請願」の審査が付託され審議しました。
審議の結果、「継続審査」に決定しました。

要望審査

○群馬県防災ヘリコプター「はるな」墜落事故殉職者慰霊碑建立等に係る要望について審議しました。
審議の結果、議員発議により議案を提出することに決定しました。

★委員会終了後に、四万地区の鷲尾沢掛樋改修工事及び同地区の消防施設を視察しました。



有事の際の消防水利を確認（四万温泉地区）

文教民生

忍者資料について

剣持秀喜委員 寄贈された忍者資料の貸借について団体関係者、新聞報道、町の見解が違っている。寄贈者の意思に沿いまちづくりを活かすためにも明確にしておくべきと思うが。

教育長 正式な手続きは必要であったと思いますが、ご厚意で資料を持ち込んでいただいております。所有者との信頼関係の中で貸借がなされたと思っております。

生涯学習課長 ミュゼの寄贈品を貸し出したということではなく、国際忍者学会会員の館長個人のライフワークの中でお手伝いしたと認識しています。

小栗芳雄委員 膨大な資料であるが寄附についての判断し受け入れたのか。運営審議会へは諮らなかつたのか。

生涯学習課長 寄附者からミュゼに打診があり、種別ごとに写真を確認し、その後、教育長へ伺い、最終的には町長へ判断を仰ぎました。運営審議会へ諮る手法もあると思います

開催日 令和3年3月17日

委員長 安原 賢一

副委員長 山田みどり

委員 小栗 芳雄・剣持 秀喜

山本日出男

が、今回の受入れのプロセスの中では行いませんでした。

小栗芳雄委員 寄贈された資料は調査、研究後に一般公開するのか。

博物館長 忍者資料は文献が不足しているので専門的な機関に協力をいただき目録づくりをするため、公開は先になると思います。

山田みどり副委員長 新聞記事を見た方から様々な意見をいただいている。町営の博物館なので責任の所在を明確にすべきと思うが今後の取組は。

教育長 今回の件については、それぞれの関係者の認識のずれがあったと思うので、館長等と相談しながら、進めていきたいと思えます。

山田みどり副委員長 注目や期待をされていると思うので、問題点があれば改善して取り組んでほしい。

少子化に対応した学校等の運営について

山本日出男委員 少子化に対応した学校、幼稚園運営についての考えは。

教育長 子供の数の減少により教育活動が十分にできない状態が子供にとってどうなのか、という視点で検討しています。生徒・児童・園児の推移を見極めながら研究していきます。

交通ルールの指導について

小栗芳雄委員 生徒・児童へ交通ルールの徹底を図ってほしいが、実際の指導の現状は。

教育長 各学校で指導をしています。町民の方もヒヤッとした場面があったらその場でタイムリーに指導いただくなど、たくさん目の目で見ていただければと思います。

ワクチン接種の医師等の確保について

山本日出男委員 コロナのワクチン接種が全国一斉にはじまるが、医師や看護師の確保の現状は。

保健環境課長 現在、医療機関に協力できる医師等の数や協力できるスケジュールの調査を実施していますので、それを見ながら今後の計画を立てていきます。

コロナ対策の地域商品券について

剣持秀喜委員 ひとくりに医療従事者へ配布ということだが、病院の

中でも各職種や部署があり、また患者と直接接する介護従事者はもらえないことから不平不満が多く聞こえてくる。国の基準に沿って行った方が良いと思うが。

町長 どこで線を引いても矛盾はするため、総体的な予算の関係で医療従事者に限らせていただきました。コロナ患者の受入れ体制で病院ごとのリスクが違おうと思いますがご理解ください。

特別障害者手当について

山田みどり副委員長 申請等の案内をどのように行っているか。複雑な仕組みなので、漏れがないような取り組みをしてほしい。

福祉係長 国の制度で都道府県が認定する仕組みですが、認定条件が非常に厳しく、わかりづらいため、県とも連携して広報したいと思えます。

請願審査

○請願第1号

『県有施設「群馬県ライフル射撃場」廃止の中止を求める請願書』が付託され審議しました。

審議の結果、「趣旨採択」に決定しました。

★3月26日委員会終了後に、ミューゼ及び忍者資料の保管状況を視察しました。

産業建設

小原崎テニスコートについて

齋藤祐知委員 漏水等により現在のトイレが使用できない。多くの人が利用しているので仮設トイレなど検討すべきと思うが。

建設課長 仮設トイレの設置や現在のトイレの修繕等を検討したいと思っています。

コロナのリスクに接している方への感謝状について

関美香副委員長 医療従事者だけではなく、公衆トイレの清掃等に従事する人もコロナのリスクに接している。感謝状を贈るのも意味があると思うが、町長の考えは。

町長 大変感謝してはいますが、いろいろバランスもありますので、全体を見た中で検討します。

民地の水道管対策について

大場壯次委員 民地に入っている水道管の対策について現状は。

上下水道課長 道路ではなく民地に

開催日 令和3年3月18日
委員長 関 常明
副委員長 関 美香
委員 大場 壯次・篠原 一美
 齋藤 祐知

入っている箇所が多数ありますが、課題もあるため、工事等でわかった時点で対処方法を考えて解決していきます。

木材活性化センターについて

篠原一美委員 運営業務遂行計画、総合計画書はいつごろできるのか。

農林課長 秋くらいまでに事業者や町の計画等を形にしたいと考えています。

大場壯次委員 木の集積は、業者が伐採し運搬するものと個人で持ち込むものどちらが中心か。

農林課長 業者が出すものが中心となります。木の駅もより集材できるよう考えていきます。

関美香副委員長 木材製品は町の特微的な産物となるので、ソフト面も並行して考えるべきでは。

農林課長 引き続き町民の意見も聞きながら検討していきます。

中之条ガーデンズについて

齋藤祐知委員 年間パスポート24

00円は、バラの最盛期等にプラス料金が発生するののか。

花のまちづくり課長 購入した方は年間を通して何度でも入園できますのでプラス料金は発生しません。

篠原一美委員 バラの手入れの仕方など勉強会を開催すれば、今後のボランティアにもつながるのでは。

花のまちづくり課長 今後は勉強会を開催するなど、園芸に関する知識を高める機会を作るとともに、そこに参加した方々にお手伝いいただける仕組みを作っていきたいと思っています。

山の上庭園について

篠原一美委員 改修が予定されているが、今後ガーデンズとの共通券発行により、それぞれの庭園をPRできると思うが。

花のまちづくり課長 現在は有料化の計画はありませんが、改修工事が終われば有料化に耐えうる施設になります。エーデルワイスとガーデンズのバラと咲く時期も重なるので共通券は可能だと思います。

ピエンナーレについて

関美香副委員長 オンラインコンテンツ配信の内容は。また目標人数はどれくらいを見込んでいるのか。

観光地域づくり係長 映像配信で作品やパフォーマンスなどを見ることができます。料金は検討中です。全体の目標人数は前回の39万人を見込んでいます。

陳情審査

○『最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書』の採択を求める陳情審査が付託され審議しました。
 審議の結果、「趣旨採択」に決定しました。

★委員会終了後に、上信自動車道吾妻西バイパス工事現場を視察しました。



現在工事中の吾妻西バイパスの上信万木沢橋 (東吾妻町三島地区)

3月定例会議 議員7名が一般質問

○関 常明 議員・・・12ページ

- 1 博物館関連
- 2 新型コロナウイルス関連
- 3 人口ビジョンと総合戦略関連

○関 美香 議員・・・12ページ

- 1 共生社会の実現に向けて
- 2 小・中学生の読書習慣について

○唐沢清治 議員・・・13ページ

- 1 「岩櫃真田忍者ミュージアム」への中之条町歴史と民族の博物館「ミュゼ」所蔵「忍者資料」の長期貸し出しについて

○佐藤力也 議員・・・13ページ

- 1 新型コロナウイルス対策について
- 2 キッチンカー（移動販売車）について
- 3 国民スポーツ大会（国体）について
- 4 害獣・害虫駆除について

○福田弘明 議員・・・14ページ

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種について

○山田みどり 議員・・・14ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について

○大場壯次 議員・・・15ページ

- 1 小水力発電所「中之条町美野原小水力発電所」について
- 2 木質バイオマスボイラーについて

- ・各議員から提出された「一般質問通告書」の内容を掲載しています。
- ・紙面の都合上、各議員のページには質問の一部を掲載しています。

◇ 議会の傍聴についてのお願い ◇

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴や観覧を希望される皆様には、マスクの着用をお願いします。また自粛等のお願いをすることがございますので、ご協力をお願いします。
※傍聴につきましては、入場制限を行っています。役場3階第1委員会室で本会議の様子を観覧できますのでご利用ください。

次回の定例会議は、6月2日（水）から16日（水）の予定です。

博物館充実に向けての考え方は

町長—展示物の精査とスペースの確保が課題



関 常明 議員

議員 常設展示の精査・検討の必要性は以前から指摘しているが、具体的な対応は。

教育長 常設展示については、これまで基本的な展示物レイアウトは変えていませんでした。

令和2年度に、1階の地理模型室を「鈴木ひで」さんの作品展示室にリニューアルし公開しています。今後も、7000点を超える作品を展示替えしていく予定ですが、スペース等の関係で、全作品を公開するには数年かかってしまうことが課題と考えます。

その他の展示物も精査が必要であるとともに、常設展示スペースの確保も必要であると考えています。

忍者関連資料について

議員 寄贈を受けた忍者関連資料は一級の歴史資料と聞く、高額の寄附もいた

資料と聞く、高額の寄附もいた

だき、有効活用する方法は。

生涯学習課長

寄附者である

前橋市在住の山岸晃様のお兄様が生前50年にわたり収集された貴重な資料で、忍者関連、武術、捕り物、錠前など1000点以上におよび、国内最大級の歴史的な忍者コレクションと言っても過言ではありません。まずは、国内唯一の忍者関連研究施設である三重大学国際忍者研究センターと連携し、調査・研究を行い一般公開へと結びつけたいと考えています。高額の寄附も資料の調査・研究の費用など有効に活用したいと思います。

博物館の運営について

議員

まず町民の皆さんに足を運んでもらう努力が必要だと思いが、具体策は。

教育長

魅力ある展示を行うことが大切だと考えています。来年度は4回の企画展とともに企画展開催中に館長の案内日設けるというようなことも含めて新たな取り組みを実施したいと思えます。

心のバリアフリーに対する取り組みについて

町長—支え合いの総合支援体制の構築を目指します



関 美香 議員

議員

障がいをお持ちの方と健常者が共に支え合う町づくりを目指す上で、DET障害平等研修の開催を検討していくべきと考えるが、町長の見解は。

町長

全ての人々がお互いに人格や適性を尊重し、支え合い認め合える共生社会の実現に向かい、積極的に取り組むことが町の責務だと思います。

町づくり、地域づくりの中で、子供からお年寄りまで、障がいをお持ちの方や健常者も全ての人がお互いに支え合い、自分らしく活躍できる環境の整備や、地域と行政、その他多くの関係機関と連携・協働できる体制づくりにより、地域力の更なる強化を目指し、全ての人を対象とした支え合いの総合支援体制の新たな構築を目指します。

制の新たな構築を目指すことが重要であると思えます。

読書通帳の活用について

議員

子供の読解力向上において、読書習慣の充実が重要であると考え、子供がより楽しく読書ができるよう、読書通帳を活用すべきと考えるが、教育長の見解は。

教育長

子どもたちが人生を豊かなものにしていくためにも読書習慣は重要と考えております。現在でも、読書推進について各校の実態に応じた取り組みを進めるよう、管内校長会等を通じて依頼しているところです。

児童・生徒が楽しみながら意欲的に読書に取り組める方策として、議員からご提案いただいたことを含めまして、各校でどのように取り組めるか校長の意見を十分聴取する中で、読書通帳につきましても検討を進めてまいりたいと思えます。

博物館「ミュゼ」所蔵「忍者資料」の長期貸し出しについて

教育長—ミュゼからの貸し出しはしていない



唐沢 清治 議員

議員

1月31日の上毛新聞記事について、新聞記事に掲載するということ

は、新聞記者にとっても、新聞社にとっても大きな社会的責任があるので、しっかりと取材に基づき、嘘偽りなく書かれた記事だと思う。「岩櫃城忍びの乱」に貸し出したような新聞記事はどういうことなのか。

教育長

前橋市在住の山岸晃様から、生前お兄様が生涯をかけてコレクションした忍者道具を一括してご寄附いただきました。

新聞の内容には齟齬があり、ミュゼからは一切貸し出しは行っていないことの確認をしています。

岩櫃城忍びの乱に展示されている資料については、2年前に、直接故人が貸し出したものであり、今回の一括には含まれません。

ていないととらえています。

「岩櫃城忍びの乱」の資料について

議員

「岩櫃城忍びの乱」に山岸さんが貸しているものは、今後どう扱うことになるか。

賢司様

生涯学習課長

生前山岸賢司様

が東吾妻町に貸し出した資料であり、東吾妻町の「岩櫃城忍びの乱」の展示品の今後の取り扱いについては、現状山岸様個人の資料ですのでお答えできません。

今後の活用について

議員

寄贈された資料の有効活用についてどう考えているのか。

教育長

貴重な資料なので、寄附者のご意向を踏まえ、まずは、三重大学国際忍者研究センターと連携し、寄贈資料の調査・研究やミュゼの一般公開へと結び付けていきたいと思えます。

貴重な資料なので、寄附者のご意向を踏まえ、まずは、三重大学国際忍者研究センターと連携し、寄贈資料の調査・研究やミュゼの一般公開へと結び付けていきたいと思えます。

如月キャンペーンについて

町長—感染拡大防止をしながら経済活動を維持



佐藤 力也 議員

議員

開催を決断した町長の考えは。また、町民限定として、キャンペーンを毎年開催してはどうか。

町長

コロナ危機において求められている事は、感染拡大防止の予防をしながら経済活動を維持していくことで、長期間にわたる外出自粛要請等で疲弊した宿泊業・飲食業者の他、町内事業者の皆さんを少しでも支援することを最優先し、関係する事業者の皆さん

の力強い後押しもあり、今回如月キャンペーンの実施に踏み切りました。また、町の良さを町民に知ってもらい、その人たちが観光大使となり他の人に伝えていくことが大切なので、町民が一人でも多く泊まってもらえるようなキャンペーンは必要だと思います。

2029国体会場誘致について

議員

会場誘致における町長の考えは。

町長

今ある施設を活用し実現可能な競技、町民が親しみをもてる競技種目の選定に努めていきたいと思えます。

国体は町民のスポーツに対する気運を高めるよい機会であると考えるので、スポーツ協会など町のスポーツ活動の中心となり協力いただいている関係団体にも意見をいただいたうえで、競技種目等、決定ができればと考えています。

リンゴ農家のカメムシ被害について

議員

町では、被害を受けたリンゴ農家へ今後どのような支援を考えているか。

農林課長

新たな防除の方法として、カメムシが嫌がる色で発光するLEDライトを果樹園に設置し、寄せ付けない方法も試みられています。

防除のための機械や器具の導入については、認定農業者の補助事業による支援が、現在でも可能となっていますが、経費、防除効果等を更に調査しながら、必要な支援を行いたいと思えます。

新型コロナウイルスワクチン接種について

町長一國の方針に則って実施します



福田 弘明 議員

議員

新型コロナウイルスによるパンデミックで重大な危機に直面している。ワクチン接種にどのような思いで取り込まれるのか。

町長

いよいよ日本でも接種が始まり、これからはこのワクチンの力を借りて終息に向かっていると期待して待っています。町でも国の方針により接種が始まるが、町の重大事業と捉え、国の方針に則って実施をしたいと思っています。吾妻郡は医療人材が非常に不足している部分があるので、関係機関と連携し、また郡の連携も図りワクチン接種をしていきたいと思っています。役場の中でも保健環境課が中心になって行うが、全力体制でサポートしたいと思っています。

ワクチンの効果について

議員

効果は接種後どのくらいの時間で出るのか。

保健環境課長

1回目接種をして、3週間間隔を開けての2回目接種を受けてから十分な免疫ができるまで7日間程度と言われています。

接種会場等について

議員

町内の接種会場及び優先順位は。ドライブスルー方式は可能か。

保健環境課長

バイテク文化ホールの体育館、六合体育館の2会場を予定しています。またドライブスルー方式はソーシャルディスタンスが取りやすいメリットがある反面、医師の問診や接種環境が外になり体制や接種後の観察等を十分にできない不安もあります。接種対象者の優先順位は、1番は医療従事者など、2番目は65歳以上の方、3番目は基礎疾患患者さんや高齢者施設等で利用者に直接接する職員、4番目は60歳から64歳の方、その後その他というような区分が国の方で示されています。

新型コロナウイルス感染症対策について

町長一地域経済を回すため商品券を配布



山田みどり 議員

議員

1月の招集会議で出された決議の具体策として町民一人に1万円の商品券を支給することが決定したが、換金率は高いものの500万円ほど使用されてないことから現金支給のほうがよいのではないか。

町長

今回の商品券を発行する目的は、要は地域経済を回すということと家計の支援をするということ、そして今回は医療従事者へ敬意を込めてということと前回に続いて第2段とすることになりました。今、疲弊をしている商店、旅館、事業所、こういったところにピンポイントで支援できるのはこの商品券かなというふうに思います。

如月キャンペーンについて

議員

観光業の支援として如月キャンペーンを3月末まで延長しているが町が行う事業であるならば補償と一体にしなければならぬのではないかと。

町長

如月キャンペーンについては、大変好調だが、それと裏腹に感染予防、これは本当に必要だということに思いながら実施をしました。今、旅館のほうでも、本当に神経を使って感染予防しています。また感染があったときの個々の補償については、町のほうでの対応は難しいと思います。

コロナ対策の総合的な窓口について

議員

コロナ対策に関わる総合的な窓口となる専門の対策室を設けるべきではないかと。

町長

人事異動、会計年度任用職員など、臨時的に増強させる考えは持っていますが、今のところ課、あるいは係の設置は考えていません。

水力発電所収益減の経緯は

町長—農業用水路長寿命化・防災減災事業の影響



大場 壯次 議員

議員

水路工事により発電できず損失が出るの
ため、農業施設への電気代充当
に影響はないか。

町長

美野原小水力発電所
は、水利権を持たな
い従属発電として事業を展開し
ています。

本年度、県営事業として美野
原用水の農業用水路長寿命化・
防災減災事業で、旧四万保育所
周辺の鷲尾沢掛樋の老朽化に伴
い断水による掛替工事を実施し
ています。

従属発電は放流水、言わば余
水の利用による発電事業で、
工事実施に伴い断水が発生して
も、発電水量の確保を求めるも
のではなく、また、今後も同様
な、農業用水路長寿命化・防災
減災事業が実施されることが予

想されますが、断水等の判断基
準は三ノ原浄水場の必要水量の
確保の有無により決定するもの
と思います。

本工事における減収予想額は
300万円程度となりますが、
太陽光発電事業と調整し、なる
べく発電収益に対して農業4施
設へ財源充当できるようにしま
した。

木質バイオマスボイラー について

議員

バイオマスに置き換
えた場合の燃料代削
減効果はあったか。

総務課長

ランニングコ
ストに係る経
費での比較については、役場・
保健センターで、約130万
円、清流の湯と診療所で約
125万円が削減できたものと
考えている。通常で通常ベー
スの使用となっていないため、
正確な比較とはなりません
が、燃料費の軽減はもとより、温室
効果ガスの削減にも寄与してい
ます。今後もより大きな成果に
繋げられるよう、取り組んでい
きたいと思えます。

予算審査特別委員会を設置

委員長 安原賢一 議員
副委員長 関 常明 議員

3月定例会議の初日に議長を除く14
人で構成する「予算審査特別委員会」
の設置を決定しました。一般会計、特
別会計及び事業会計の当初予算の議案
審査を予算審査特別委員会に付託し、
重点事業を中心に各款ごとに3日間に
わたり幅広く審査を行いました。

重点事業の主な質疑

● 一般会計

議会事務費

問 タブレット端末の導入の目的は。
答 オンライン会議やペーパーレス化
を図っていきます。

総務費

問 自主防災組織の有無に関係なくす
べての行政区に備蓄品の配布を。
答 3年度の達成率を見て検討してい
きます。

問 防災士普及のため養成支援の啓発
を。
答 受講費用助成の広報活動に努めま
す。

問 文化会館の改修工事内容及び修繕
しない場合の支障は。
答 舞台の遠方操作盤等の改修工事
で、天井の反響板やワイヤー等が正常
に作動しないことが想定されます。

問 町公式サイトへCMSクラウド版
を導入する効果は。
答 視覚障害に対応した機能になりま
す。

問 ふるさと移住・定住促進の成果、
課題等は。
答 コーディネーターを中心に町の魅
力を情報発信し、また移住体験住宅も
活用してまいります。

問 ふるさと納税の一日町長事業を見
直す考えは。
答 これを楽しみに多額の寄附をして
くれる人もいますので、改革できるとこ
ろは実施します。

問 個人番号カードに紐付けられる情
報は。
答 保険証利用が先行して開始され、
今後、免許証等の紐づけも予想されま
す。

問 ビエンナーレの規模等及び費用対
効果は。
答 40会場で95組、海外からもリモー
トで12組の参加を予定しています。

コロナ対策を図りながら、前回同様の入場者数、収入を見込んでいます。

問 スパトレイル「四万to草津」の規模やボランティアの依頼は。

答 9月から10月頃にトレイルトリップツアーを実施するため、ボランティアの依頼は予定していません。

民生費

問 新たに高齢者等移動販売車による買い物見守り支援を行う目的は。

答 高齢者等の見守りは、現在も沢山の方々に協力をいただいています。いろいろな仕組みを作ること、見守りの充実を図るものです。

問 寝たきり老人等紙おむつ給付事業を県が事業廃止した理由は。

答 他の制度でカバーするということですが、町単独で事業は継続します。

問 慶朗会の開催期間がコロナ対策で10日になるが各地区の割り振りは。

答 人数制限等で県のガイドラインに沿って実施する必要があります。最長で10日間を見込みました。地区の割り振りなどは今後検討していきます。

衛生費

問 コロナウイルスワクチンの接種の対策は。

答 専属職員1人を確保するほか、役

場全体で対応していきます。

問 施設の入所者や自宅で寝たきりにより医療機関へ行けない人の対応は。

答 介護施設等の入所者には施設に出向き接種できるように協力依頼をしています。また寝たきりの人等については、どのような形で接種が可能か今後考えています。

問 合葬墓の整備について、場所、規模及び費用は。

答 中之条霊園の敷地内に10㎡くらいの納骨堂を予定しています。費用は今後検討します。

問 六合地区の医療の見直しに伴う新診療所について内容等は。

答 あり方検討会、六合温泉医療センター管理運営協議会で議論を重ね、住民アンケートの結果をダイジェスト版で配付し説明会を行いました。地域医療を確保するため、現在の診療内容が継続できる規模を想定しています。

労働費

問 職業安定協会の活動の現状は。

答 学校訪問による求人情報の提供、新規就労者研修の実施、企業の合同ガイダンスなどを行っており、地元企業に残っていたり活動をしています。

農林水産費

問 美野原農業公園構想事業の内容は。

答 中之条ガーデンズの調理実習室をリニューアルし、特産品の生産、加工、商品化の拠点とするため、施設の修繕や機器の購入を行い、中之条フードラボとして整備を行います。

問 中之条フードラボ施設設計デザイン料は。

答 中之条ガーデンズの調理実習室のリニューアルに伴い壁等のデザインを行うものです。

問 中之条ガーデンズに4300万円を超える各種業務委託料が計上されているが、委託する理由、金額の根拠は。

答 有料施設として高水準の管理を行うため専門家に委託をしています。金額は、見積りや相談で決定しています。

問 中之条ガーデンズに700万円の広告料が計上されているが、冬の入場者対策など効果的な広告を。

答 冬季の令和元年度入場者実績は全体の6%で大きな課題です。食事の場などとして使ってもらえるようにメニューの研究、食器の見直し、食香バラを使った体験等で集客増加を考えています。

問 山の上庭園のウッドデッキ改修工事について、坪単価が27万円を超えるが、どのようなものを造るのか。

答 腐食を防ぐため合成素材を使用します。工事には、排水対策及び門扉も含まれています。

問 木材活用センター建設について課題や予定は。

答 木材の受入量や販売先の確保について、町と一緒に事業を進めていく業者も決定したので、生産量や詳細設計等について具体化していきます。

問 木材活用センターの運営について山に放置された間伐材など集材方法の検討は。

答 集積用のウインチも用意しました。木材を有効活用する仕組みについても検討していきます。

商工費

問 温泉地の飲食店不足解消に向け、チャレンジショップ出店支援事業の見直しはできないか。

答 飲食難民が出るのはイメージが悪い。泊食分離も必要なので、活性化に向け知恵を絞っていきます。

問 大平湿原から芳ヶ平湿原の新ルートが開設され、またヒュッテも町の管理になったがメリットは。

答 芳ヶ平とチャッポミゴケ公園が結

ばれ、観光面で広く活用でき、また安全の確保も図れます。

問 赤岩温泉施設のポンプの修繕料が頻繁にでてくるが今回の修繕内容は。

答 適温の温泉をくみ上げるため、引湯管の延長を行います。

問 チャッポミゴケ公園の送迎バスを地元の方に業務委託はできないのか。

答 今までの経緯も踏まえて検討させていただきます。

建設費

問 町営住宅の入居待機者はいるか。

答 西中之条団地など場所により現在5名から6名います。

問 橋梁長寿命化修繕計画について、現在までに修繕が終わった橋梁は。急いで修繕が必要な橋梁は。

答 237橋のうち30橋が修繕済で、緊急措置橋梁はありません。今後は早急に修繕が必要な橋梁を年間4橋ほど修繕していく予定ですが、健全な橋梁も老朽化していくため、長期事業になります。

消防費

問 防火水槽2基の設置場所は。

答 木材活用センター建設に伴うもので、旧沢田小を予定しています。

問 今の消防ポンプ自動車は性能もよ

く、整備もしっかりしているので、対応年数を延ばしてもよいと思うが。

答 消防団や消防委員会の意見を聞いた中で検討していきます。

教育費

問 近隣町村と比較して不登校の児童生徒が多いと聞いたが、新たな取り組みは。

答 午前みのみの配置だった心の相談員を、時間を延長して配置し午後まで対応出来るようにします。

問 ICT活用事業について、今後の方向性は。

答 授業の中で協働的な学習、一人ひとりの学習の最適化、今持っている学力に応じた学びの保障に視点をおいて対応していきます。

問 六合赤岩重要伝統的建造物群保存地区の保存活用計画の策定状況は。

答 世代も変わり保存への理解も薄れているため、もう一度周知できる計画の策定を行っていきます。

問 東谷風穴について、最終的な事業の目標は。

答 現在、整備計画を策定しており、今後石垣の復元、石積みの補強、見学の通路の整備、案内看板の設置を行います。駐車場までの道路整備は関係課と調整していきます。

公債費

問 今後、支出が増加していく中で、財政の健全化の方向性は。

答 ふるさと納税の減少や合併に伴う財政支援措置もなくなり、公共施設も持続が困難になるため、歳出について見極めながら行っていきます。

国民健康保険特別会計

問 今、国保の基金を利用して急激な負担増にならない施策はできるか。

答 国保制度改革により税率など県内で広域化し統一する流れになっています。流動的な要素もあるため、今後の状態を見極め基金の繰入を考えていきます。

問 人間ドック検診の補助について、指定機関以外も対象にできないか。

答 受診者の要望等を見ながら検討します。

介護保険特別会計

問 生活支援体制整備事業での意見集約をどう政策に結びつけるのか。

答 安心して暮らせるまちづくりの環境として、協議体で協議された内容を活動の場に結び付けていきます。

介護老人保健施設 ゆうあい荘事業特別会計

問 このままでは存続の危機が目に見えているが今後の展望は。

答 継続していくべき施設だと考えています。

発電事業特別会計

問 売電収入が前年度に比較すると減収だが算出根拠は。

答 実績に基づき、また天候不良等によるものです。

上水道事業会計

問 町内にはまだ石綿管が残っているか。交換の予定は。

答 距離としては150mほどで、交換の予定については多額の費用がかかるため検討していきます。

予算審査結果

議案第1号から議案第13号について審議した結果、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算及び介護保険特別会計予算は賛成多数、その他の予算は全員賛成となりました。

議会の主な活動

- (1) 1月28日 木材活性センター事業者選考会
- (2) 2月4日 国道353号車両通行不能区間の解消を求める意見書提出
- (3) 12日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- (4) 16日 群馬県町村議会議長会定期総会
- (5) 17日 自動車教習所運営委員会
- (6) 18日 吾妻郡町村議会議長会臨時会
- (7) 24日 議会運営委員会
- (8) 24日 全員協議会
- (9) 25日 介護老人保健施設「ゆうあい荘」運営協議会
- (10) 25日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会定例会1日目
- (11) 25日 吾妻東部衛生施設組合議会定例会
- (12) 26日 西吾妻福祉病院組合例月出納検査
- (13) 3月3日 3月定例会議1日目
- (14) 3日 総務企画常任委員会
- (15) 8日 予算審査特別委員会(1日目)
- (16) 9日 予算審査特別委員会(2日目)
- (17) 10日 予算審査特別委員会(3日目)
- (18) 11日 3月定例会議2日目(一般質問)
- (19) 15日 3月定例会議3日目(一般質問)
- (20) 16日 総務企画常任委員会
- (21) 17日 文教民生常任委員会
- (22) 18日 産業建設常任委員会
- (23) 23日 西吾妻福祉病院組合議会定例会
- (24) 24日 消防小型ポンプ付積載車両移管式
- (25) 25日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会定例会2日目
- (26) 26日 3月定例会議4日目
- (27) 26日 中之条町土地開発公社理事会
- (28) 26日 文教民生常任委員会
- (29) 4月12日 議会運営委員会
- (30) 13日 六合温泉医療センター管理運営協議会
- (31) 16日 区長会議
- (32) 17日 中之条ガーデンズグランドオープンセレモニー
- (33) 15日 議会広報特別委員会
- (34) 26日 議会広報特別委員会

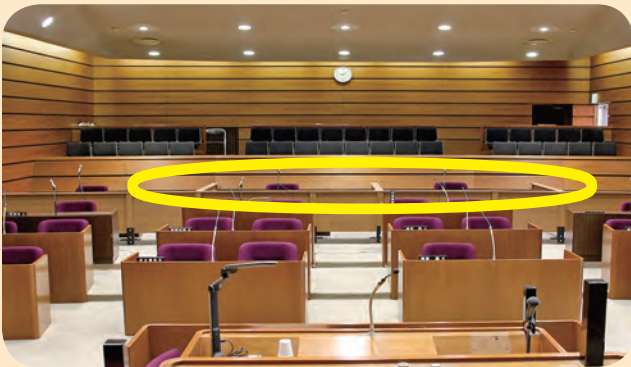


(2) 国道353号車両通行不能区間の解消を求める要望活動(群馬県庁、群馬県議会)



(32) 中之条ガーデンズのグランドオープンイベントに参加

議場内に車いす利用者専用の傍聴席ができました。



議場内の一部を改修し、車いす利用者専用の傍聴席(写真中段黄色の箇所)が完成しました。エレベーター横の自動扉からそのまま議場へ入場し、傍聴が可能になります。

※現在、コロナウイルス感染症対策のため一部を議席として利用していますので、多数で傍聴を希望される場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡をお願いします。

編集後記

3月定例会議は、予算議会といわれております。議会では、全議員による意見集約を図ることができ、傍聴者を受け入れることにより緊張感のある質の高い議論が期待できる予算審査特別委員会を初めて設置し、町の重点事業を中心に3日間にわたり質疑を行い、委員会及び本会議において令和3年度の予算が承認・可決いたしました。質疑のあらましを本号に掲載しておりますのでご確認ください。れば幸いです。

新型コロナウイルスの感染の再拡大が続く中、町民の皆様には、感染予防にご協力いただきまして有難うございます。中之条町のコロナワクチンの接種は5月中旬より高齢者を優先に接種が始まる予定です。ワクチン接種により新型コロナウイルス感染の終息を願うばかりです。議会では、町民の皆様とともに力を合わせて新型コロナウイルス対策に全力で取り組んでまいります。

議会広報特別委員会

- 委員長 齋藤 祐知
- 副委員長 佐藤 力也
- 委員 山田みどり
- 委員 関 美香

- 篠原 一美
- 篠原 大場
- 大場 一美